環境経営レポート

株式会社 百代テクノクリーン

作成日　２０２４年 １１月 １日

活動期間　2023年10月～2024年9月

Ⅰ・　登録範囲
Ⅱ・　事業活動の概要
Ⅲ・　環境方針
Ⅳ・　環境経営運用組織図及び役割・責任・権限
Ⅴ・　環境目標と実績
Ⅵ・　環境活動計画・実績、評価及び次年度の取組に向けて
Ⅶ・　環境関連法規等の順守状況及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
Ⅷ・　代表者による全体評価と見直しの結果

Ⅰ-登録範囲

事業所	本社

事業内容	下水管渠清掃、下水管TVカメラ調査、雨水管清掃、道路側溝清掃、水路清掃、グリストラップ清掃、産業廃棄物収集運搬業、一般建設業

※現状、一般建設業の許可の下で行う建設及びその他の建設に係る実態はありません。

※除外する事業所、事業内容は有りません。

Ⅱ-事業活動の概要

1　事業所及び代表者

事業者名	株式会社　百代テクノクリーン
代表者名	水野　美樹

2　所在地

本社・工場	茨城県取手市稲1201番地1

3　環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者	水野　　美樹

4　事業内容

事業内容	下水管渠清掃、下水管TVカメラ調査、雨水管清掃、道路側溝清掃、水路清掃、グリストラップ清掃、産業廃棄物収集運搬業

5　事業規模

例：令和4年度　令和4年10月　～　令和5年9月

活動規模	単位	令和4年度 令和4年10月～令和5年9月	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
処理量（産業廃棄物収集運搬量）	トン	594.78	357.80						
売上高 (21.5～22.4)	万円	12,544	12,231						
従業員	人	11	15						
床面積	㎡	100	100						

6　廃棄物処理業の情報公開項目

①法人設立年月日：令和1年5月
②資本金：2,000,000円
③許可内容
【産業廃棄物収集運搬業】

都道府県	許可番号	許可年月日	許可の有効期限	産業廃棄物の種類
茨城県	00801219791	令和3年1月25日	令和8年1月24日	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類
千葉県	01200219791	令和3年4月26日	令和8年4月25日	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ
埼玉県	01100219791	令和3年4月28日	令和8年4月27日	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ
福島県	00707219791	令和5年2月14日	令和10年2月13日	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類
★栃木県	00900219791	令和6年5月1日	令和11年4月30日	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類
★東京都	1300219791	令和6年8月23日	令和11年8月22日	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類

上記★印ついては今期新規に許可を得た地域である。

④事業の範囲と施設等の状況
【産業廃棄物収集運搬】
a)収集運搬車両の種類と台数：吸引車3台　Wキャブ1台
b）積替え保管施設は無し。
⑤処理実績
a)　受託した産業廃棄物の処理量:収集運搬量357.80t（汚泥）
⑥廃棄物処理料金
問合せ毎に電話等で対応いたします。

7　一般建設業の許可

・許可番号：茨城県知事許可（般－06）第38650号
・許可の有効期限：令和6年10月3日　から　令和11年10月2日　まで
・建設業の種類：土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、鋼構造物工事業、舗装工事業、しゅんせつ工事業、水道施設工事業

Ⅲ-環境方針

環境経営方針

理念

株式会社　百代テクノクリーンは、主に汚泥に関する清掃及び収集運搬事業を通し、下水道メンテナンスのエキスパートを目指し従業員、家族、顧客と地域社会の皆様に信頼され喜ばれる価値ある会社を目指します。

基本方針

１．環境関連法令はもとより、業界等の指針及び自主基準を遵守してまいります。

２．当社の経営課題及び機会に取組みます。

３．自社の製品・サービス及び事業活動による環境負荷及びリスクを認識し、環境汚染の予防に努めます。

４．電気使用量の削減、自動車燃料使用量の削減、廃棄物の抑制及びリサイクル化並びに水の排出量の削減に重点的に取組みます。

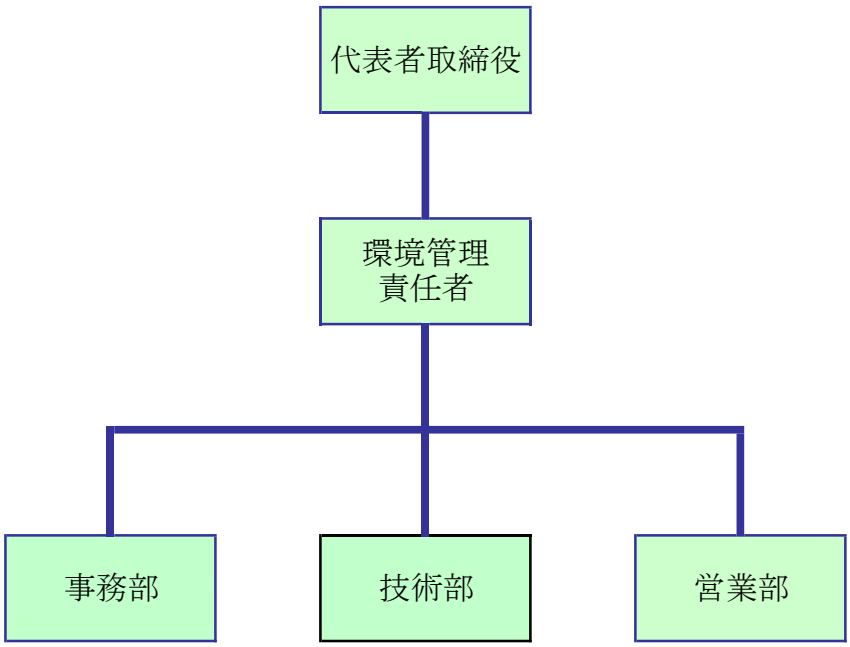
５．環境方針に基づき目標を定め、定期的に見直しをすると共に、環境経営システム及び環境パフォーマンスの継続的改善に努めます。

６．環境教育、広報活動などにより、全従業員、協力会社に環境方針の理解と協力を求め、周知徹底を図り、環境保全活動に努めます。

７．環境方針及び環境活動計画及びその実績等については開示します。

２０２２年１０月１日
株式会社百代テクノクリーン
代表取締役　水野美樹

Ⅳ-環境経営運用組織図
及び役割・責任・権限



組織の構成員	役割・責任・権限
代表者	①環境方針を定める。 ②環境管理責任者を任命すると共に、環境経営組織、役割、 責任を定める。 ③必要な経営資源を提供する。 ④経営における課題とチャンスを決定に必要な取組をします。 ⑤活動の実績を環境管理責任者に求め、必要な指示を行う。
環境管理責任者	①環境経営システムを構築し、運用の責任者と権限を有する。 ②運用状況の全体について把握し、代表者に報告する。
部門長	①環境方針、環境目標、環境活動計画の自部門に関連する活動及びその他環境責任者からの指示事項についても実践する。
従業員	①部門長から指示のあった事項について実践する。

V-環境目標とその実績

目標一覧表　第Ⅱ期

NO	目標項目	基　準（令和4年度令和4年10月から令和5年3月迄の実績）	単　位	目標値					
				令和4年度（R4年10月～R5年9月）		令和5年度（R5/10月～R6/9月）		令和6年度（R6/10月～R7/9月）	
				目標値	実績値/達成率（%）	目標値	実績値/達成率（%）	目標値	実績値/達成率（%）
1	人材の育成（土木管理技士資格取得）	土木管理技士　0人	人	土木管理技士2級1名	0/0	土木管理技士2級1名	0/0	土木管理技士2級1名	
2	二酸化炭素排出量削減	45,596	kg-CO2	基準の1%減 45,140	45,970/ 98	基準の2%減 89,368	72,937/123	基準の3%減 88,456	
3	電力使用量	1,870	kWh	基準の1%減 1,851	1,670/111	基準の2%減 3,665	4,713/78	基準の3%減 4,666	
5	車両燃料（ガソリン）使用量削減	2,565	L	基準の1%減 2,539	2,265/112	基準の2%減 5,027	5,615/ 90	基準の3%減 4,961	
6	車両燃料（軽油）使用量削減	15,031	L	基準の1%減 14,881	17,808/84	基準の2%減 29,460	22,377/ 132	基準の3%減 29,160	
7	産業廃棄物リサイクル100%	100	100	100%	100/100	100%	100/100	100%	
8	一般廃棄物排出量削減	165	kg	基準の1%減163	184/89	基準の2%減 323	473/ 68	基準の3%減 320	

※化学物質の使用はありません
※地下水使用はトイレ用で少量使用する程度で、かつ積算流量計の取り付けが無いため水使用量の把握は不可であり、実績に含んでいません。
※二酸化炭素排出係数は東京電力エナジーパートナーの2021年度実績の0.452kg-CO2/KWhを使用しています。
※令和4年度の目標は令和4年10月から令和5年3月まで実績値を入手し、その実績を基準として令和5年4月から目標を設定し達成率などの管理をスタートした。

Ⅵ-環境活動計画・実績、評価及び次年度の環境経営目標と取組に向けて

○：目標達成　△：目標達成率９０％以上　×目標達成率９０％未満

次年度の環境目標は「Ⅴ環境目標とその実績」のページに記載

①人材の育成（土木管理技士資格取得）：　土木管理技士2級1名

環境活動計画	実績	評価	次年度の取組
合格に向け自己学習の実施	2月7日１次試験１名受験して結果不合格となった。	【達成率０％　×】	１次試験１名、2次試験１名受験を計画している。

②二酸化炭素排出量削減　：　基準の1%減

環境活動計画	実績	評価	次年度の取組
電気、ガソリン及び軽油使用量の計画に基づく	ガソリン、軽油の使用量が削減された。	【達成率123%　○】	電気、ガソリン、軽油の各使用量に基づく。

③電気使用量の削減　：　基準の1%減

環境活動計画	実績	評価	次年度の取組
①照明、エアコンの無駄な使用を無くす②空調の設定温度暖房22℃冷房26℃③エアコンフィルター定期的な清掃	夏の猛暑と冬場の残業増によるエアコンの運転による電気量の増加となった。	【達成率78%　×】	エアコンの温度設定をしっかり守り、前年度の活動を継続する。

④ガソリン使用量の削減　：　基準の1%減

環境活動計画	実績	評価	次年度の取組
エコドライブ推進	営業車両ハイブリッド3台稼働で前年から1台ハイブリッドが増えた。	【達成率90%　△】	引続きエコドライブを推進する。

⑤軽油使用量の削減　：　基準の1%減

環境活動計画	実績	評価	次年度の取組
	①取手市と神栖市に車庫の確保を継続している。②海岸の土砂撤去		

①エコドライブの実施②アイドリングストップ	の作業がなかった。③極力吸引車などの作業車両を現地に止め走行を少なくする改善をした。	【達成率132%　〇】	左記の取組を極力継続する。

⑥産業廃棄物排出量のリサイクル　：　100%リサイクル

環境活動計画	実績	評価	次年度の取組
リサイクルを行う中間処理場に処理の委託をしている。	計画通りである。	【達成率100%　〇】	通常は100%のリサイクルが達成できる。今後も継続していく。

⑦一般廃棄物排出量の削減　：　基準の1%減

環境活動計画	実績	評価	次年度の取組
①仕事のDX化、ペーパーレス化②裏紙使用	現場作業員が４人増えたためと事務所のリフォームと車庫の倉庫の片づけ実施のため排出量が増加した。見積書、請求書をＤＸ化をし、その他書類も含めデータ送付をしている。	【達成率68%　×】	今後もＤＸ化を進め事務仕事の効率化とともに紙の廃棄物を減らす。

Ⅶ-環境関連法規等の順守状況及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

◆環境関連法規等の違反における関係当局からの指摘及び訴訟は過去3年間ありません。

以下は、主な適用法令と遵守評価結果である。

評価結果　○:順守している　△：一部評価するデーター、資料が無い　×：違法の可能性がある

適用対象の活動・施設など	法令等の名称	主な内容	評価結果
一般及び産業廃棄物の排出	廃棄物処理法	一般廃棄物の適正な分別と排出	○
		産業廃棄物の排出	○
産業廃棄物の収集運搬業	廃棄物処理法	産業廃棄物収取運搬業	○
産業廃棄物の排出	廃棄物処理法	産業廃棄物処分業	○
車両の所有（全て白ナンバー）と走行	道路交通法	定期自主検査の実施状況（1年に1回）	○

Ⅷ-代表者による全体評価と見直しの結果

環境管理責任者から代表者へ提供される情報	環境管理責任者は各項目毎に問題点等を判りやすく下記に整理し、関係資料と共に代表者へ提供する。
①環境経営方針	問題なく方針達成に向けた活動をしています。
②経営にける課題とチャンスへの取組	人材の育成（土木管理技士資格取得）の取組として24年10月に一次試験1名、二次試験1名を受験し令和7年2月頃の結果待ちである。
③目標の達成度及び環境活動計画の実施状況	目標未達は人材育成、電気、ガソリン及び一般廃棄物であったが、その他二酸化炭素排出量などは大きく達成することができた。達成率90%未満の3件については是正処置を行う。人材育成は次年度も資格取得に挑戦する計画である。電気は目標値の変更を計画する。一般廃棄物は23年度は特殊要因による未達であり次年度は達成を見込んでいる。
④法令等の遵守状況	適用法令の社内における遵守評価において、すべて遵法であることを確認しました。
⑤外部からの苦情等の受付結果	苦情はありませんでした。
⑥実施体制	人材育成以外は問題はありません。
⑦その他のEMSに関する問題点	特になし

代表者から環境管理責任者への指示事項	**環境方針**	**変更の必要性　有　○無** **指示事項** 特になし。
	環境目標	**変更の必要性　有　○無** **指示事項** 令和5年度の環境目標で目標未達の項目は次年度に向け、改善に向けた活動を徹底する。今後も更なる経費削減、環境改善を進めていく。
	実施体制、環境経営システムのその他の要素	**変更の必要性　有　○無** **指示事項** 今後も無駄を排除し、経費節減及び業務の合理化を進めてもらいたい。 実施体制として建設業の許可を令和6年10月3日に取得したが、現状は活動の実態はない。令和7年度は土木工事を行う計画で資格者の取得を目指して取組を行う。